

Make Things Intelligent

あらゆるモノのインテリジェント化を目指し、
スマート社会の安全や快適、効率に貢献します。

2025年6月期 中間（第2四半期）決算説明資料

フィーチャ株式会社（東証グロース4052）

2025年2月14日

1. 業績ハイライト

2. 当中間（第2四半期）決算概要

3. 事業概要及び成長戦略

Appendix

- ・会社概要
- ・四半期決算情報

本資料の数値はすべて連結ベースで記載しております。

Make Things Intelligent

あらゆるモノのインテリジェント化を目指し、
スマート社会の安全や快適、効率に貢献します。

1. 業績ハイライト

2. 当中間（第2四半期）決算概要

3. 事業概要及び成長戦略

Appendix

- ・会社概要
- ・四半期決算情報

Make Things Intelligent

あらゆるモノのインテリジェント化を目指し、
スマート社会の安全や快適、効率に貢献します。

売上高**12.3%**成長

- ✓ 受託開発収入は、大手取引先との共同開発案件の開始やボッシュ(株)との資本業務提携の効果により、**170百万円（前年同期比+40.0%）**
- ✓ ライセンス収入は、一部取引先においてボリュームディスカウントの単価減少の影響により、**76百万円（前年同期比△22.1%）**

赤字幅縮小

- ✓ 人件費の上昇を受託開発収入の増加によりカバーし、営業損失は7百万円と**赤字幅は縮小**（前年同期は営業損失21百万円）

大手自動車メーカーとの共同開発契約

- ✓ 当1Qにおいて、**大手自動車メーカーとの共同開発契約**を締結
DMSの分野において、将来的な技術の実現に向けた**中長期での開発連携**に合意

最新の開発状況・
販促施策

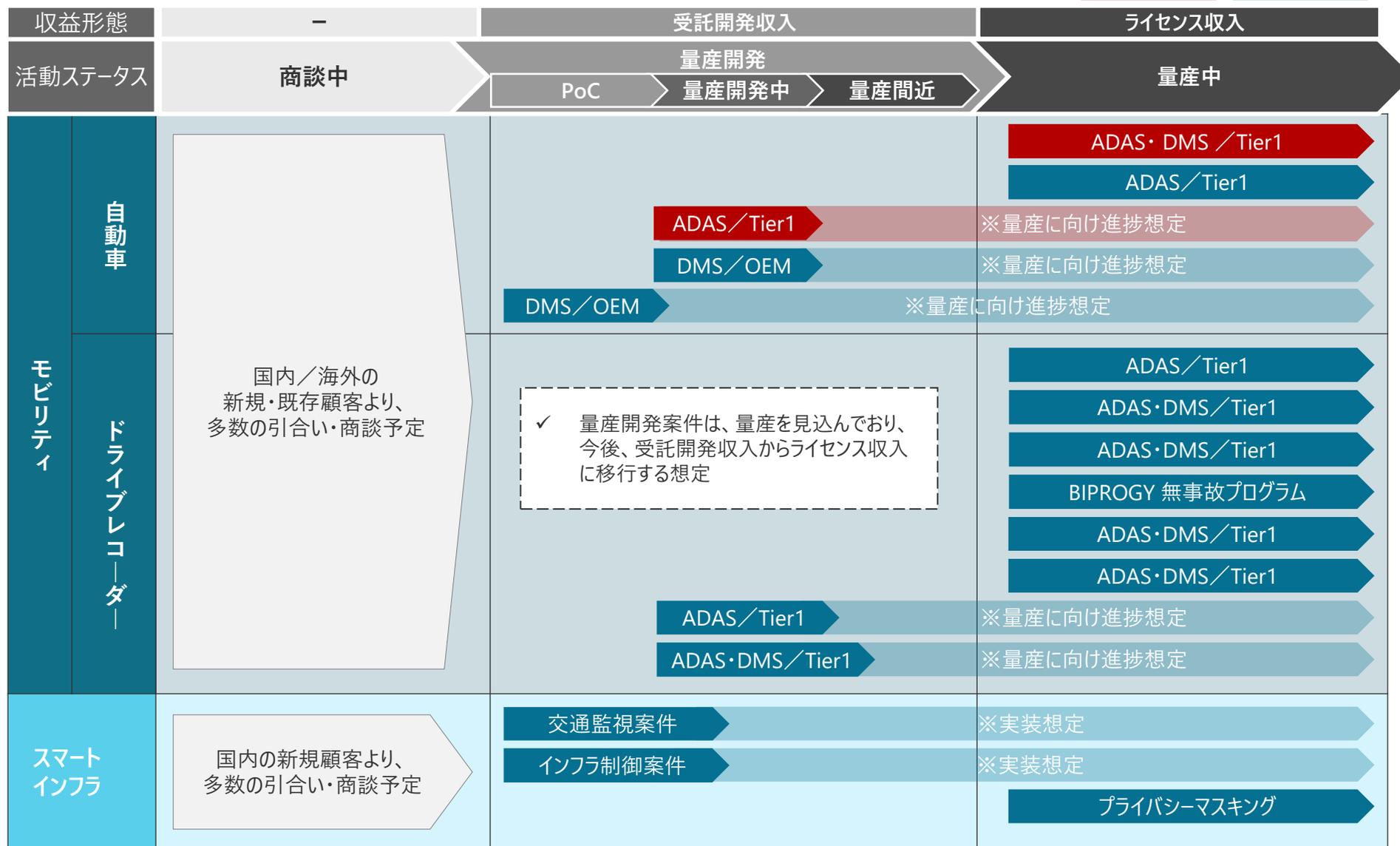
- ✓ **複数の展示会**に出展し、最新技術を紹介
- ✓ AI-OCR公式サイトを**リニューアル**

主な量産案件進捗状況（モビリティ事業・スマートインフラ事業）

量産案件を複数開発中、長期的なライセンス収入の積み上げを実現

海外案件

国内案件



- ✓ 大型案件を含む複数案件を受注
- ✓ 単純なAI-OCRだけでなく、画像認識技術や大規模言語モデル（LLM）を用いたDXソリューションも展開

当期の主な新規受注案件

案件概要

進捗状況

大手製造業



- FAXによる非定型注文書のデータ化、自動抽出機能及び一定のロジックに基づいたデータ加工、システムへの転記

- 開発完了、ライセンス提供済み
- グループ内別会社への展開も視野

大手教育関連企業



- 学生の手書き答案用紙につき、AI-OCRでデータ化し、採点作業を効率化

- 4 Qでのライセンス開始に向け開発中

先端技術に関する共同開発契約を大手自動車メーカーと締結

- 国内大手自動車メーカーと3年間の中長期開発連携に合意
- 大規模言語モデル（LLM）を用いたDMS（ドライバーモニタリングシステム）分野の共同開発
- 中長期的な戦略パートナーとして、従来以上に強固な関係の構築を目指すことで、一層の企業価値向上及び新規ビジネス協創を実現



複数の展示会にて当社の最新技術を紹介、多数の商談機会創出

- AI・業務自動化展（2024年10月）
- AI・人工知能EXPO（2024年11月）

専用カスタマイズ対応が可能なオーダーメイドOCRソリューション、動画上の人の顔やナンバープレートに自動でモザイク処理するプライバシーマスキング技術などを紹介

- オートモティブワールド（2025年1月）

ドライバーの居眠りや危険動作の検知、表情・性別・年齢の推定技術、さらに手の動きを瞬時に認識する機能など、さまざまな事例を紹介



1. 業績ハイライト

2. 当中間（第2四半期）決算概要

3. 事業概要及び成長戦略

Appendix

- ・会社概要
- ・四半期決算情報

Make Things Intelligent

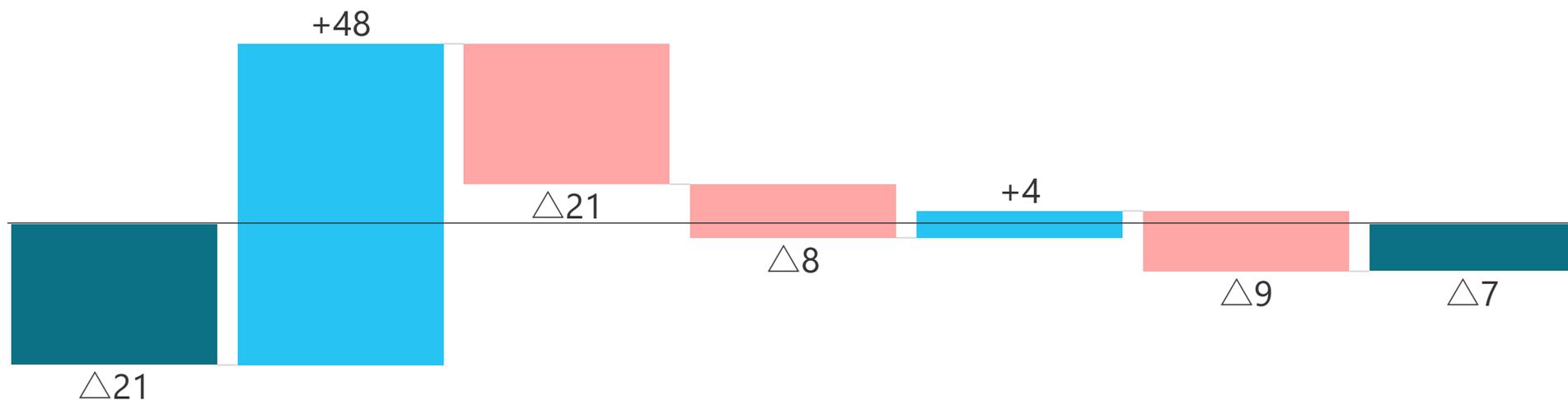
あらゆるモノのインテリジェント化を目指し、
スマート社会の安全や快適、効率に貢献します。

(単位：百万円)

	2024年 6 月期	2025年 6 月期			
	2 Q実績	2 Q実績	前年同期比	通期予想	進捗率
売上高	220	247	+ 12.3%	558	44.3%
うち、受託開発収入	121	170	+ 40.0%	390	43.7%
うち、ライセンス収入	98	76	△22.1%	167	45.6%
売上原価、販管費	241	254	+ 5.2%	555	45.8%
うち、人件費	146	155	+ 5.6%	347	44.6%
うち、経費	102	97	△4.5%	208	46.9%
うち、仕掛品振替	△7	1	—	—	—
営業利益	△21	△7	—	2	—
経常利益	△22	△7	—	2	—
親会社株主に帰属する 四半期（当期）純利益	△19	△8	—	1	—

受託開発収入の大幅増加により、赤字幅が縮小

(単位：百万円)



2024年6月期
2Q営業利益

受託開発収入
の増加

大手取引先との
共同開発案件の影響

ライセンス収入
の減少

単価減少による影響

人件費の増加

昇給及び増員

経費の減少

支払手数料等の
減少

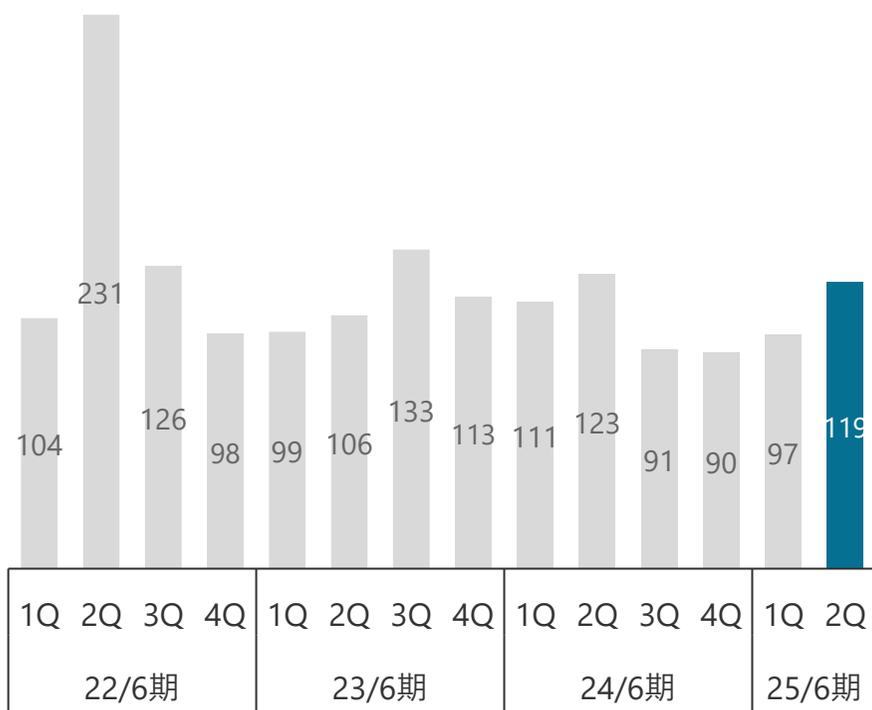
仕掛品振替

前期案件との納期の違い

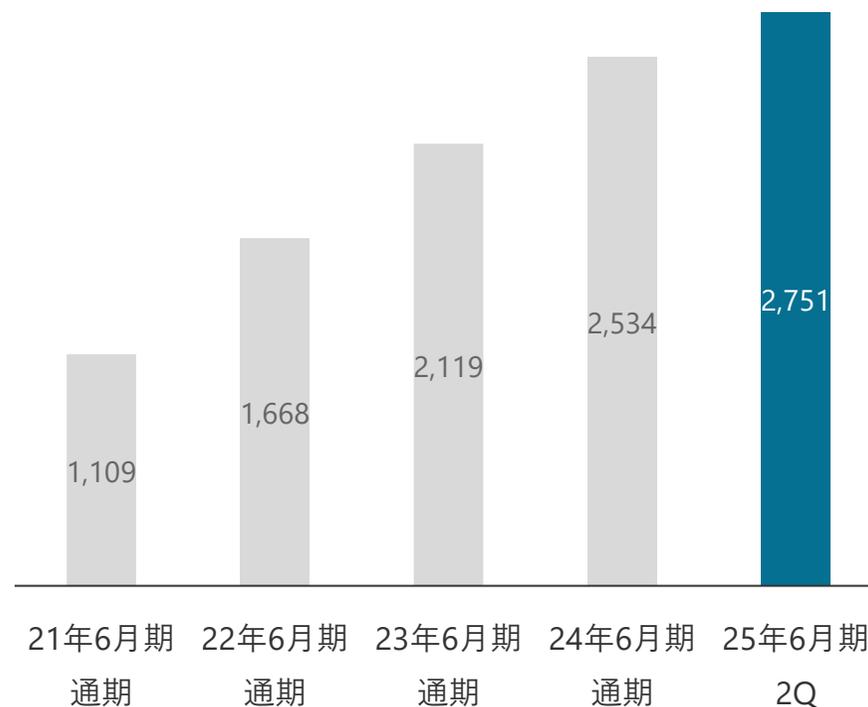
2025年6月期
2Q営業利益

搭載台数は堅調に推移、一部取引先においてボリュームディスカウントにより単価減

四半期別量産台数 (千台)



累計量産台数 (千台)



1. 業績ハイライト

2. 当中間（第2四半期）決算概要

3. 事業概要及び成長戦略

Appendix

- ・会社概要
- ・四半期決算情報

Make Things Intelligent

あらゆるモノのインテリジェント化を目指し、
スマート社会の安全や快適、効率に貢献します。

モビリティ事業を主軸に、スマートインフラ事業やDX事業まで幅広く展開

モビリティ事業

過去10年超にわたり、車載カメラ及びドラレコ向けの画像認識ソフトウェアを開発。低計算コストかつ優れた精度、カスタマイズ性により、多数のTier1、OEM、ドラレコメーカーに採用。



スマートインフラ事業

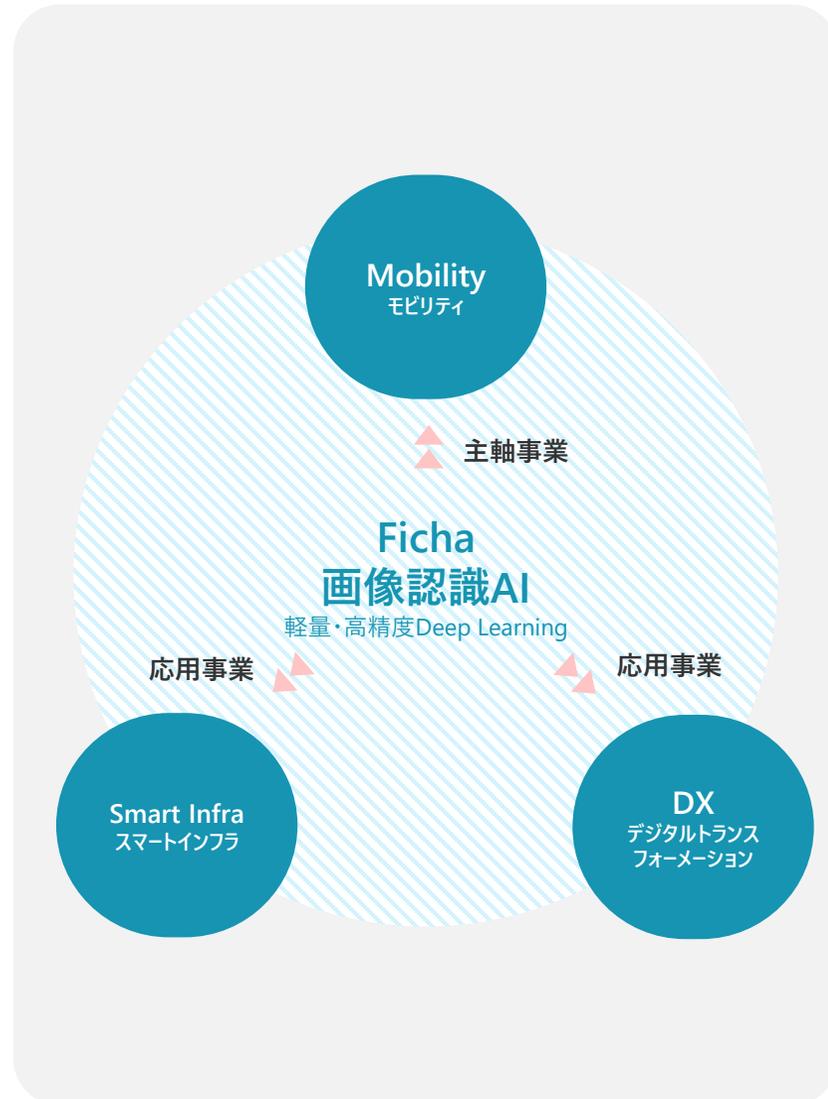
モビリティ事業で培った技術をインフラ向けに応用。スマートシティの実現に向けたインフラに関する様々なニーズに対応。



DX事業

競争力の高い物体検出アルゴリズムをベースに開発された高精度AI-OCRや、軽量でマルチモーダルなLLMの提供により、企業のDX化を支援。

納品期限	令和3年 12月 1日	納品場所	〒170-6019 東京都豊島区東池袋3-1-1 サンシャイ 6019F		
商品コード	商品名	単位	数量	単価	金額(税込)
8R2F12	ホワイトボード		20	¥1,000	¥2,200
4678Q	椅子		5	¥200	¥1,000
8W54H	A型バリケード		1	¥3,250	¥3,250
合計金額					¥6,750



ADASとDMSのラインナップが充実 大手取引先との提携により、更なる規模拡大を目指す

Point 1

「軽量」かつ「高精度」

- KITTI* ベンチマークテスト **歩行者検出第1位**
- **ローエンドSoC**で極力低演算コストでADAS機能の量産実装

Point 2

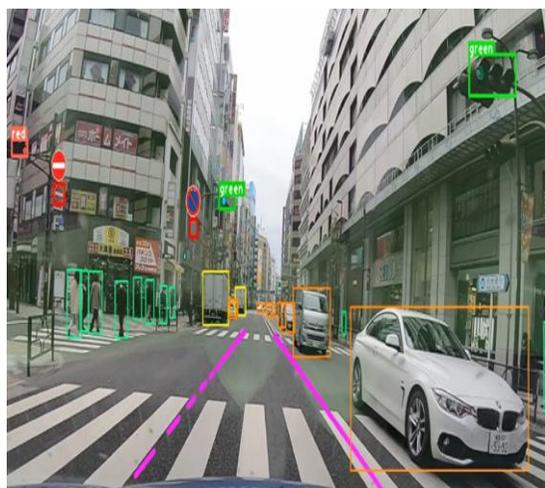
豊富なAIモデル、ビッグデータを保有

- 撮影画像等の**ビッグデータ**を有しており、少ない顧客データで効率的な開発が可能
- 顧客ニーズに応じ最適な技術提案と**カスタマイゼーション**

Point 3

多数の量産実績

- 累計ライセンス台数**270万台**を突破
- 今後も複数案件の量産開始を予定



種類	検知対象	機能	
製品ラインナップ一例	ADAS	車両検知	前方車間距離 衝突警報 低速時追突警報
		車線検知	車線逸脱警告、ふらつき検知
		横断歩道検知	一旦停止無視
	DMS	歩行者検知	信号無視検知
		信号検知	速度超過警告 一時停止不停止、信号無視検知
		標識認識	居眠り運転検知
危険動作検知		脇見運転検知 携帯電話操作/通話検知 喫煙検知	
	顔認識	運転手の顔認証	

* 世界最大規模の車載用ベンチマークテスト「The KITTI Vision Benchmark Suite」2020年4月時点

スマートシティの実現に向け、画像認識技術の需要拡大

交通監視やインフラ制御など、複数の案件が進行中

Point 1

モビリティ技術の応用

- モビリティ事業で培った豊富な実績や技術・ノウハウをインフラ向けへ応用
- 【ADAS技術】交通監視、インフラ制御、人流解析 etc.
- 【DMS技術】個人認証、デジタルサイネージ etc.

Point 2

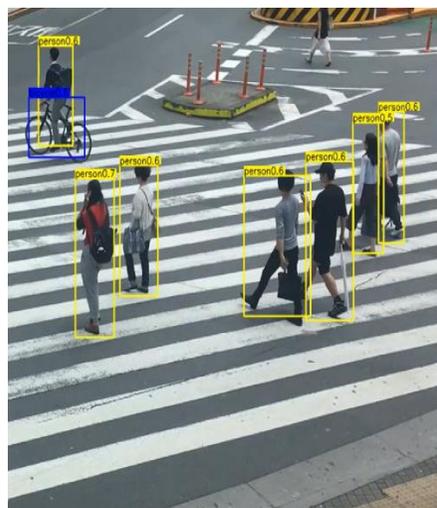
プライバシーマスキング

- ビッグデータ解析にあたり取得・保管するプライバシー情報への配慮が必要
- 顔やナンバープレートに自動でモザイク処理する自動マスキング技術を保持

Point 3

高性能なエッジAI

- 高性能なAIモデルを低スペックなエッジデバイスに実装することが可能
- 解析後の映像データを保存せず、個人情報漏洩リスクを低減



LLMを活用した独自技術で実用的なソリューションを提供 様々な業界へライセンス提供中、新たな収益の柱を目指す

Point 1

活字/手書き文字を高精度で認識

- 文字領域を高精度なOCR技術で自動検知
- 最先端の文字認識アルゴリズムを活用
- 大規模な学習データセットで学習

Point 2

事前設定不要な項目抽出機能

- 事前設定不要で指定した情報（品番、取引先名、金額など）を自動抽出
- 帳票内の表形式部分も自動で読取・出力可能

Point 3

顧客ニーズに応じたカスタマイズ

- 特有のフォーマットや非定型書類の精度向上のためAIモデルを専用学習
- 読取後のデータ加工、出力方法についても、ニーズに合わせたアプリケーション開発・設計が可能

オンプレミス提供

- オンプレミス環境で動作可能なため、セキュリティ要件の厳しい環境でも使用可能

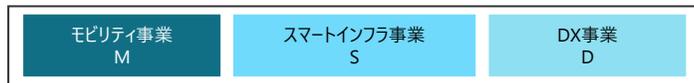
社内システムにて処理完了します

顧客毎の専用カスタマイズ

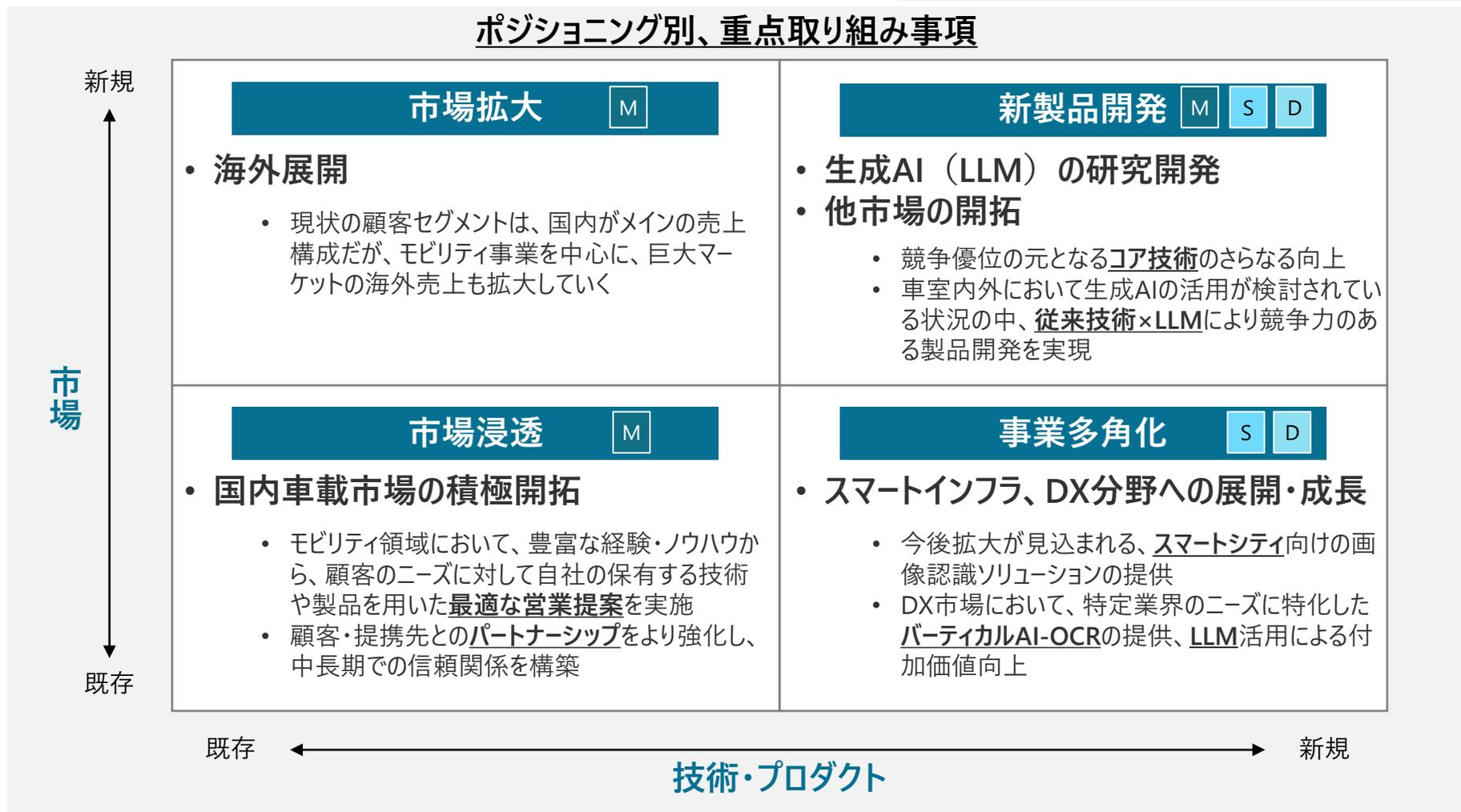
- カスタマイズが制限されるクラウド型OCRでは実現が難しい、ワンストップのシステム構築が可能

非定型文書 インプット → 基礎システムへ アウトプット

今後も拡大する画像認識ソフトウェア市場において、当社の技術力を通じて、開発/販売を加速し、事業拡大と高い成長性を継続



ポジショニング別、重点取り組み事項



1. 業績ハイライト

2. 当中間（第2四半期）決算概要

3. 事業概要及び成長戦略

Appendix

- ・会社概要
- ・四半期決算情報

Make Things Intelligent

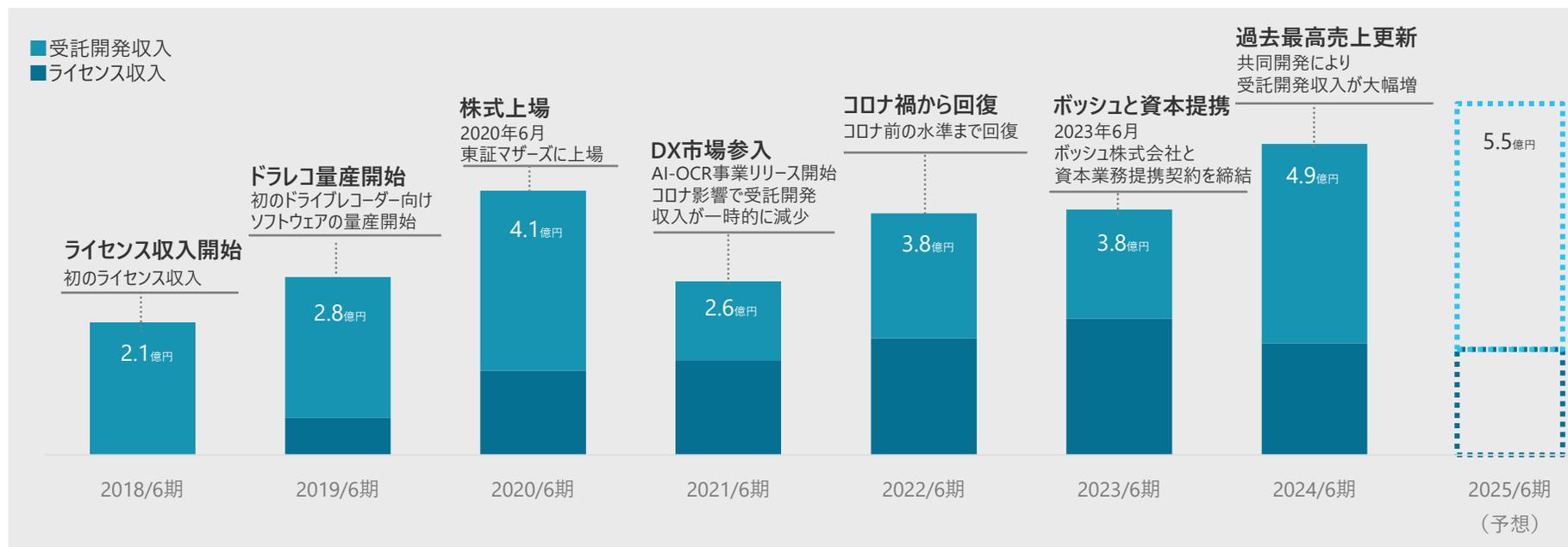
あらゆるモノのインテリジェント化を目指し、
スマート社会の安全や快適、効率に貢献します。

社名	フィーチャ株式会社
代表者	代表取締役社長CEO兼CTO 曹暉
住所	東京都豊島区東池袋3-1-1 サンシャイン60 19F
創業年月	2005年8月
資本金	383,506千円 2024年12月末現在
従業員数	44名（非正規 14名）2024年12月末現在
事業内容	画像認識AIソフトウェア開発及び販売

Make Things Intelligent

あらゆるモノのインテリジェント化を目指し、

スマート社会の安全や安心、効率に貢献します



- 2019年からモビリティ関連の量産開始、現在までに累計ライセンス台数270万台を突破
- OEM、Tier1とのパートナーシップをはじめとした、複数顧客との共同開発を実施
- 2020年から、事業多角化を見据え、応用技術の活用によるスマートインフラ事業やDX事業に参入

→ 当社の技術力や実用性が評価され、ライセンス台数・顧客数ともに着実に拡大中



- 国内外の自動車メーカー量産案件に、当社技術提供済み
- 現在も複数のADAS及びDMS案件が量産開発中

量産中 案件	No.	1	2	3	4	5	6	7	8
	取引先	国内Tier1	BIPROGY(株)	海外Tier1	国内Tier1	国内Tier1	国内Tier1	国内Tier1	国内Tier1
	案件概要	ドラレコ用 ADAS	ドラレコ用 ADAS	車載カメラ用 ADAS・DMS	ドラレコ用 ADAS・DMS	ドラレコ用 ADAS・DMS	車載カメラ用 ADAS	ドラレコ用 ADAS・DMS	ドラレコ用 ADAS・DMS
	開始時期	2019	2019	2019	2020	2021	2021	2023	2023
全案件 契約継続中					→				

(参考) 四半期決算情報

(単位：百万円)

	2024年 6 月期				2025年 6 月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	90	129	161	112	120	126		
うち、受託開発収入	44	77	118	76	83	87		
うち、ライセンス収入	46	51	43	35	36	39		
※売上原価	23	43	51	43	46	45		
売上総利益 (粗利率)	67 74.1%	85 66.1%	109 67.9%	68 60.8%	73 61.4%	80 63.8%		
※販管費	92	81	75	84	81	80		
うち、研究開発費	33	27	24	30	30	29		
営業利益 (営業利益率)	△25 -	3 2.9%	34 21.1%	△16 -	△7 -	0 0.1%		

※原価 + 販管費合計	116	125	127	128	127	126		
うち、人件費	73	73	77	79	80	74		
うち、経費	53	49	47	49	46	51		
うち、仕掛品振替	△10	2	3	△1	0	1		

本資料は、当社の業界動向及び事業内容について、現時点における予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来展望についても言及しております。

これらの将来展望に関する表明の中には、さまざまなリスクや不確実性が内在します。既に知られたもしくは未だに知られていないリスク、不確実性その他の要因が、将来の展望に関する表明に含まれる内容と異なる結果を引き起こす可能性がございます。

当社の実際の将来における事業内容や業績等は、本資料に記載されている将来展望と異なる場合がございます。

本資料における将来展望に関する表明は、本資料公表日現在において利用可能な情報に基づいて当社によりなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して、将来展望に関するいかなる表明の記載も更新し、変更するものではありません。

IRに関するお問い合わせ先

フィーチャ株式会社 管理部

E-Mail : management@ficha.jp